



不適正除染事案に関する報告

2015年4月22日

環境省福島環境再生事務所

目 次

【1-1】田村市における不適正除染事案

- (1) 概要
- (2) 不適正除染の状況

【1-2】環境省及び田村市における対応

- (1) 環境省の対応
- (2) 田村市の対応

【2-1】南相馬市における不適正除染事案

- (1) 概要
- (2) 不適正除染の状況

【2-2】環境省及び受注者の対応

- (1) 環境省による対応
- (2) 受注者による対応

【 1 - 1 】 田村市における不適正除染事案

(1)概要:

1)発生場所:田村市都路(みやこじ)町岩井沢地区

2)発注者:福島県田村市

3)経緯:

平成25年9月下旬:	福島県田村市の民家敷地付近に別の民家の除染作業(田村市発注)において発生した除去土壌(約515kg)を除染業者が不法埋設。
平成26年5月:	・上記不法埋設を行った除染作業員の1人が不適正除染110番に通報。 ・環境省が通報を受け直ちに田村市に事案を共有。 ・田村市が現地を掘削して不法埋設を確認。 ・環境省が本件事案の概要と対応状況について公表
福島県警が本事案について捜査	
平成27年2月:	福島県警が除染業者代表と現場指揮者を逮捕
平成27年3月:	放射性物質汚染対処措置法(いわゆる特措法)第46条(汚染廃棄物等の投棄の禁止)違反で罰金刑の略式命令が確定

【1－1】田村市における不適正除染事案

(2)不適正除染の現場の状況



①不法埋設の現場(現場確認前の状態)



②掘削して小型土のうを発見



③掘り出された除去土壌が入った小型土のう



④掘削後除去土壌を掘り出した後の状態

※除去土壌は確認後直ちに田村市の一時保管所(仮置場)に運び、保管中。

【１－２】環境省及び田村市における対応

(1)環境省の対応

- ・田村市に管理の徹底と再発防止対策の報告を要請。
- ・各市町村に対し、除去土壌の適切な管理等の徹底を文書で要請。

(2)田村市の対応

- ・各除染業者に対し、不適切な除染作業の防止について文書で指導。
- ・環境省に事案の経緯等を文書で報告。
- ・環境省に再発防止対策を文書で報告。
- ・元請業者を3ヶ月の指名停止処分。

【2－1】南相馬市における不適正除染事案（1）

（1）概要

1) 発生場所（通報箇所）：南相馬市小高区小谷字権現平の農地に隣接する森林の中の窪地

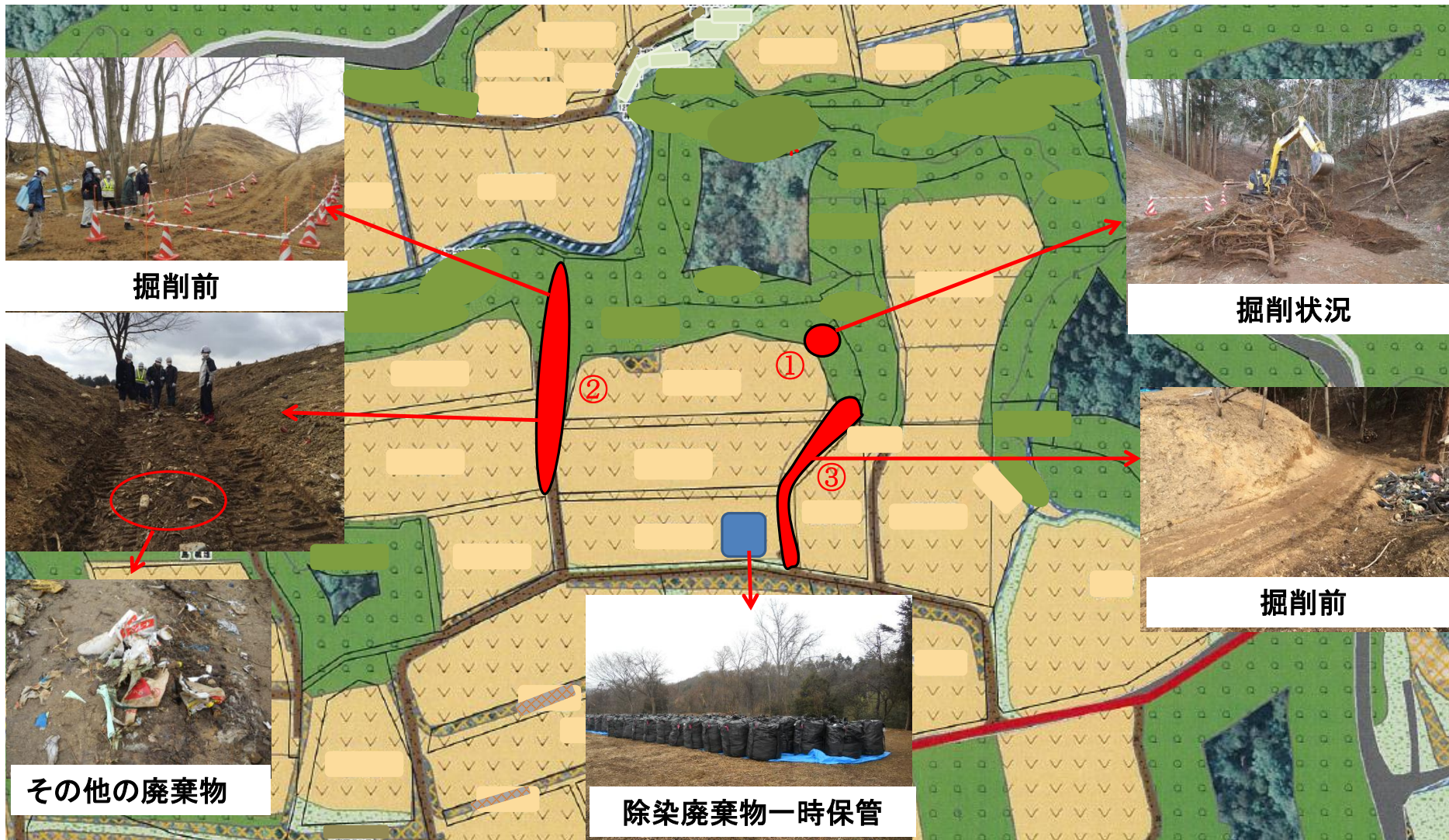
2) 発注者：環境省福島環境再生事務所

3) 経緯：

- ・平成27年2月25日に除染等工事受注者が除染作業員から通報を受け、26日にかけて通報箇所を掘り起こしたところ、倒木、ツタ、枝等が埋設されていることを確認。
- ・26日に環境省は受注者に対して、関係事業者からの聞き取りによる原因究明、施工状況の再確認、再発防止に係る対応を指示。
- ・環境省及び受注者は、福島県南相馬警察署と連携して現地調査を進め、3月13日に調査を終了。今後も捜査に協力する予定。

【2－1】南相馬市における不適正除染事案（2）

（2）不適正除染の状況



【２－２】環境省及び受注者の対応（１）

（１）環境省による対応

- ・事案発生後、速やかに事案の概要や対応状況等についてお知らせ（計４報）。
- ・監督員による現場立会等の日々の施工管理、除染が適切に実施されているか確認調査等を通じて監督。
- ・当該事案を踏まえ、委託監督員の増員等による体制の強化。
- ・施工中の除染等工事受注者に対し、除染に伴う作業の中で不適正な措置の有無について確認。
- ・確認の結果、不適正除染との誤解を招く作業※があったことから、受注者に対して改善を指示。
- ・受注者に対し、諸法令の遵守、除染の適正化について指導。

※堆積物除去済みの道路において、高圧水洗浄による除染前に回収した落ち葉等について、後に計画していた当該道路舗装面の除染の際に一体的に回収することを予定し、道路脇に大型土のうに詰めずに残置していた。

【２－２】環境省及び受注者の対応（２）

（２）受注者による対応

- ・除染廃棄物とその他の廃棄物との区別と取扱い方法といった廃棄物の取扱いに関する更なる教育の徹底・強化。
- ・刈払・集積等の主要除染作業だけでなく、準備作業・軽微な仮設作業等にも注視した現場巡視、孤立した、隠れた作業箇所への明示等により、元請の担当者による現場状況に応じた適切な作業内容の事前確認・指示及び作業中の監督を強化。



作業所長によるJV職員教育



準備作業・軽微な仮設作業箇所の明示

【２－２】環境省及び受注者の対応（３）

（２）受注者による対応（続き）

- ・「不適切除染」を点検項目に追加する等の不適正除染防止に関するパトロールの強化。
- ・当該作業に関連した事業者が関わった作業箇所142箇所について再確認を行い、異常がないことを確認。



パトロール状況



142箇所調査の様子